

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム海津「福寿苑」

目標達成計画

作成日: 平成 24年 3月 29日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	○運営推進会議を活かした取り組み 4施設合同で会議を行うことで、家族の意見やそれぞれの事業所の問題点が現れにくくなっているため、開催方法の検討が必要である	開催方法を再度検討・実施することにより、問題点を明確にし家族との意見交換の場から、一層サービス向上につなげることが出来る	・合同での推進会議終了後、各施設に分かれ御家族とお話する時間を設ける ・会議の中で出された家族や出席者からの意見が明確になるように施設毎で会議録を作成する	10ヶ月
2	2	○事業所と地域とのつきあい 地元自治会や町内会などの地域情報が十分得られておらず、地域の一員としての関わりが必要である	・地域活動の情報を得、地域の一員としての関わりが出来る	・推進会議の場を利用し、地元自治会長・民生委員・老人クラブの方々に働きかけ、地域の活動情報を得、事業所自体が地域の一員として関わられるようにする	ヶ月
3	35	○災害対策 昨年は夜間を想定した避難訓練も実施したが、限られた人数での避難には限界があり、地域住民の協力体制の構築が必要である	周辺の福祉施設・医療機関・消防署との継続的な協力体制の継続と、地域住民の協力体制を構築することが出来る	・周辺の福祉施設・医療機関・市町村・消防署との継続的な協力体制と地域住民の方の災害対策、体制について方針や意見交換を運営推進会議の場を利用して協力体制の構築に結びつけられるよう努める ・施設における消防訓練・防災訓練を運営推進会議に合わせて実施し、地域の方の参加を得やすくする。また、当施設における現状を知っていただき、地域との関わり的重要性を話し、協力体制の構築に結びつけられるよう努める	10ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。